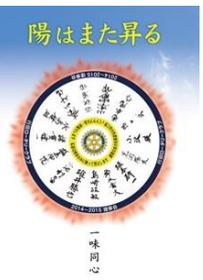


国際ロータリー第 2570 地区  
**行田ロータリークラブ**  
 2014-15 年度 RI 会長：ゲイリー C.K. ホアン / ガバナー：坂本元彦  
 会長：島崎政敏 / 幹事：碓井勝也  
 クラブ会報委員会 委員長：小松和弘 副委員長：永島健雄  
 例会日：木曜日 午後 12:30 開会 会場：ベルヴィアイトピア



第2361回 例会 第5回例会(7月31日) ガバナー公式訪問例会

- 点鐘 島崎政敏会長
- ロータリーソング斉唱
- 来訪者紹介
- 会長の時間 島崎政敏会長
- 幹事報告
- 入会式

- 本日の卓話  
第 2570 地区ガバナー 坂本元彦 様
- 謝辞
- 出席奨励・スマイル委員会
- 点鐘 島崎政敏会長

**点 鐘**

**来 訪 者 紹 介**



バナー交換

**会 長 の 時 間**



皆さん こんにちは。

今日は今月 5 回目の例会になりますが、月末にもかかわらず出席いただきまして有難うございます。

また坂本ガバナーにおかれましては、川越RCを皮切りに地区内で 4 番目の訪問先という早さで行田において下さいまして、有難うございます。

早い時期に 直接ご指導を頂ければそれだけ年度の活動に活かし易い訳ですから本日は大いにご方針をお示し下さいますようお願い申し上げます。

その前に 今日にはガバナーがお見えですので、私は年度計画書の拙文のタイトル「眩い光のロータリークラブ」についてのお話しをしたいと思います。

このクラブの慣わしで会長の時間は 10 分以上は語る ということになっていますので 少々長くなるかとは思いますが、その

分せしモノ一めいたことは少なめにしていますので、カバナーのお時間は充分確保しております。ご心配ご無用でございます。

広隆寺の弥勒菩薩と言えばあああれか！とすぐに姿を思い浮かべられる方も多いかと思います。足を組んで右手の指先が少し頬に触れて、何か考えているような姿ですから 弥勒菩薩半跏思惟像 とも言うそうです。

この仏像が日本に来たのは西暦で 623 年ということですから、今から実に 1400 年近く前のことになる訳ですが、かつて青年会議所の頃に、武笠会員達と一緒に紀野一義さんという仏教学者の先生の講話を何度も聞きまして、テープも何十本も聞いたんですが、その中に東京谷中の全生庵 幽霊の絵で有名な寺ですけど、ここで毎週土曜行っていた講話のテープがありまして、「永遠の凝視」というタイトルでこの広隆寺の弥勒菩薩のことを話しているのがあって、これがとってもいいんです。

なんでも 20 世紀を代表するような哲学者で ドイツ人の確かヤスパースだったかもこの弥勒菩薩が大好きで 人間の作った表情としてこんな見事なものは他に見たことがないとか言って、自分の研究室に大きな写真を飾って毎日眺めていたという話しもあったりするものですから、私もこれは実物を是非とも見たいものだという気持ちが年々募ってきました、ようやく 3 年前に嫌がるかみさんを連れてこれを見て来ました。

大きなお堂の中で保存の為でしょうか？ 照明も抑え気味な中で顔の表情なんかがいまひとつ判りにくくて、ちょっと残念でしたけど やはり彫刻の国宝第 1 号と言うだけありまして、それに相応しい存在感を漂わせていました。

この仏様、今は材料の木材の木地が現わになっていまして、剥落の美学だなんて言われていますが、かつては金箔が施されていたそうです。まさにまばゆく光り輝いていたんだらうと思います。

このクラブには お坊様がお二人いますので、私なんか仏教の事を語るのには気が引けますが、日本に仏教が伝来したのが日本書紀では西暦 552 年、はじめは王侯貴族の信仰だったのが次第に庶民にまで広がっていく、そんな中で中島先生の方の弘法大師様や福島直前の道元様といったスーパースターをはじめ大活躍をしたお坊様が次々と現れます。つまり真つ暗闇にまぶしいくらいの明るい光をかざしてくれた大勢のお坊様達の活躍があって、そしてまた金色に輝く仏様が導いてくれる極楽浄土、これを人々が信じた事によって今日本は世界でも有数の仏教国になっている訳です。

私はロータリーも同じようなところがあると思っています。行

田RCが誕生したのは 1966 年 昭和 41 年です。戦後すでに 20 年経っていた訳ですが、まだその頃の社会、特に田舎は古い因習に満ち満ちていました。 会合なんかにしても案内の時間から 30 分から 1 時間遅れの開会なんてのは当たり前、新しい憲法で一応みな平等になった訳ですが、例えば行田の町で言えば 当時は力のあった老舗の足袋屋の大旦那様のような人達と一般庶民とでは教養にしても 社会的地位なんかも全く違っていたんだと思います。私の父なんかはロータリーに入会してヨーロッパへ旅行したところ、誰々さんは現地の人とフランス語で会話しちゃうんだよ全く立派なもんだ と本当に驚いて子供達に話していたくらいでした。それがロータリークラブという一種の外来文化が入ってきて、これが誠に素晴らしい、これからの時代 これこそ世界標準だということになって、日本人はいいな と思えば取り入れるのが上手ですから 丁度仏教が入ってきて、その教えがどんどん広まっていったのと同じように、みるみる全国津々浦々に拡大していったということかと思えます。

それから 50 年、ロータリーはあまり変わらないんでしょうが 世の中は大きく変わってしまいました。 その世の中の変化にロータリーという外来文化も少なからず関係をした影響を及ぼしたんじゃないかと考えますと誠に皮肉なものと思えますが、かつて因習や暗黙の決まり事に満ちていたこの国は今やもう何でもありの世の中です。また行きすぎブレすぎの民主主義とでも言うんでしょうか、 例えば長幼の序なんて言葉はもう死語にすら近くなっている感があります。

昨年度の新入会員の勧誘では こんな場面もありました。福島会長、大野幹事、それにあまり気の進まない私も クラブ奉仕部門長だからってことで引張り出されて、是非入会して下さい という勧誘の席が設営されたことがあったんですが、その際にある人物 <新井君じゃありません> は福島会長との会話はいわゆるタメ口で言うのか 年上のしかもお坊様に対して特段の敬意を払っている様子もなく、飲んだ勢いとは言ってもロータリーの会長に対して「福島さんの話は 案外と面白いから、今度ロータリーのことはさて置いて 一度また二人で飲みましょう」なんて言っている、「ちゃんと修行したお坊さんの話しですから面白いに決まってる、それにお寺を三つも経営してロータリーの会長を務めている人がどれだけ忙しい思いをしながら今日のこの時間を作っているのか オマエさん、そんな事わからないの」と言いたくなっちゃったんですが、会長が一生懸命勧誘してるのを私がブチ壊しにしちゃあ申し訳ないと思って黙っていましたが、私はこういう人はあまり勧誘しない方がいいなと

思っていました。

ガバナーがいらっしゃるところでこんな話しをするのはいかなものかとは思いますが、このあとのクラブ協議会での議論の呼び水になろうかと思えますから申します。

地区では今年もそうだと思いますが、例年各クラブの実情などお構いなしに純増1名などと目標を立てて会員拡大に励むようにというような意向を示します。ですが私は数的な目標での会員拡大などしない方がいいという考えです。数が前に出してしまうとどうしても現場では先程のような無理な勧誘が行われてしまう、むしろ逆に絞り気味の定員でも設定して、メンバー数は限定的にして活動の質を高めて、地域社会で圧倒的な輝きを放つ、新たに入りたくてもなかなか入れない、ウエイティングの人達が大勢いてその中からこれはという人だけを面接して、合格した人には入会を認めるというくらいのクラブに出来たらいいんじゃないかと思っています。

今の世の中、変化が激しくて 事業を営む者にとっては本当に厳しい難しい時代です。そんな時代であればこそ、入会することによって自分の人生もまた変わってくるかも と思えるようなクラブに出来る可能性 というものが絶対にあると思えます。

クラブから声が掛かった人は「俺もようやくこの町で認められるようになったと、あの人達の仲間に入れてもらえると、一生懸命仕事をして来て良かったなあ」と思えるような、そして奥さんからは「あなた本当に良かったわね。これからも頑張るね」と言ってもらえるような、そんな晴れやかな気持ちで入会するクラブにしたいものと思っています。

さて色々と話してきましたが、今日また1名の新人を迎えることが出来ました。

はたしてどんな気持ちで来てくれたのか、奥さんに何と云われて出てきたのかまだ判りませんが、今日は用事があって1時にはここを出なきゃならないという忙しい中、来てくれました。彼は先日ロータリー情報委員会の後の懇談ではこんなことを言っていました。「正直、ほかの団体からも何度か声を掛けてもらっていましたが、昨年 会員拡大の委員長さんから正式に入会を要請されて、福島会長さんからは親書まで頂きました。その時はまた決心が付きませんでしたけれど、こんなにきちんと勧誘してくれたのは行田RCだけでした。ですからもしも入るならば行田RCしかないという気持ちがずっとありました」ということを語ってくれたんです。どうでしょう、誠君もなかなかいいことを言うと思いませんか。

今日は この地区の第一人者、坂本ガバナーをお迎えしての例会で入会式が出来る、そしてこんな話しも披露出来ますこと、私も嬉しい限りです。

そんな訳で昨年度の福島会長はじめ拡大委員会の皆さんには改めて 感謝、お礼を申し上げまして、今日の話しはこの辺でおしまいにさせていただきます。

## 幹事報告



### 碓井勝也幹事

#### <1> 入会推薦のありました新井誠さんの件

入会推薦のありました新井誠さんにつき、理事会承認をいただき、異議申立期間も経過、入会金の納付も頂きましたので、本日入会式を行います。歓迎いたします。

#### <2> ガバナー公式訪問の件

本日のガバナー公式訪問につき地区事務局より“月信”に掲載したいのでその様子を写真付きで提出するよう幹事宛て連絡がありました。例会はもとより、クラブ協議会の様子も報告いたしますので、集合写真と合わせ会員のご協力お願いいたします。

#### <3> 次回例会の件

次回例会は寄居町の京亭です。理事会は4時30分から、例会は6時00分からとなっております。多くの方のご参加をお願いいたします。

## 入会式



新井誠会員

## 本日の卓話

第2570地区ガバナー 坂本元彦様



- ・世界のロータリークラブの現状
- ・ロータリーの会員とロータリアンの違い
- ・素晴らしいロータリアンを作るには
- ・例会は楽しくなければいけない

等について、お話いただきました。



## 謝辞



島崎政敏会長

## 出席状況報告



倉持好二郎 出席奨励・スマイル委員長

T	正会員数	58名
A	85年規定承認者	19名
A	理事会欠席承認者	
P	本日の出席者	41名
B	各承認者の例会出席者	11名
MU	本日のメーキャップ者	3名
本日の出席率		88.0%

## ニコニコ報告

小山会員	坂本ガバナーほかご一同様、ようこそこの暑い行田においで下さいました。心から歓迎申し上げます。
蔭山会員	ガバナー、よろしくご指導願います。新井君ようこそ！
諸貫会員	坂本ガバナーの来訪を歓迎いたします。ご指導を、よろしくお願い致します。
永島会員	新井誠様、ご入会おめでとうございます。ご祖父様と私、永島、同年の入会でした。まだがんばってます。誠様のご活躍を期待します。
以下同文の方	南川会員

※本日のニコニコは 5,000 円でした。ありがとうございました。

## 点 鐘